

第5学年1組 道徳科学習指導案

指導者 ○○ ○○

1 主題名及び教材名

主題名「自分に誠実に」

A2【正直, 誠実】誠実に, 明るいい生活すること。

教材名「見えた答案」(東京書籍)

2 主題設定の理由

内容項目の解釈
<p>「正直, 誠実」の正直とは, 正しくてうそや偽りのないこと, 誠実とは, 私利私欲がなく, 人や物事に対して真心を持ち, うそなどをつかない真面目さがあることである。過ちや失敗はだれにでも起こりうることであるが, そのときの自己保身的なうそやごまかしは, 真の解決には至らず, 自分自身の中に後悔や自責の念が残る。よくないことと知りつつも自分の意に反して誠実な行動ができないことは心地よいものではなく, 後ろめたさから, 誇りや自信を失ってしまうことにつながることを考えさせることを通して, 誰も見ていない場面や自分が黙っていけば分からない内容であっても, 自分の良心に照らして正しいと思える行動をとろうとする態度を育てていくことが重要である。さらに, 誠実であるからこそ, 明るい生活が実現できることを理解させ, 真面目さを前向きに受け止めた生活を大切にすることで自己を向上させようとする態度を育てたい。</p> <p>A2「正直, 誠実」については, 中学年で「過ちは素直に認め, 正直に明るいい生活すること」について学習してきた。これを受けて本主題では, 正直な心で, 明るく誠実に行動しようとするものの大切さについて学習していく。このことは, 中学校での「自律の精神を重んじ, 自主的に考え, 判断し, 誠実に実行してその結果に責任をもつこと」の学習へと発展していく。</p>

児童の実態	教材の分析
<p>本学級の子どもたちは, ずるやごまかしをせずに自分に正直に行動することが大切であると考えている。しかし, 損得や私利私欲のために, ずるやごまかしをしてしまったことがあるということが多い。</p> <p>そこで, 自分に誠実に行動し, 自分の過ちや結果や実力を素直に認めることができるこの期に本主題を取り上げる。そして, いかなる状況でも自分に誠実に行動しようとする態度を育てたい。</p> <p>このことは, 誠実の価値を感得させるとともに, 自己の生き方を見つめる子どもを育てる上からも意義深い。</p>	<p>本教材「見えた答案」は, 主人公の花子が友達のよし子の答案を見てしまい, 100点を取るが後悔をする話である。前日の夜, 花子は家庭の都合で勉強ができず, 翌日のテストで最後の一間がどうしても解けない中, よし子の答案を見てしまい, 結果的に100点を取る。しかし, 返却された答案を見て, 花子は惨めな気持ちになり, 「二度とこんなことはしてはいけない。」と自分に言い聞かせる。ずるやごまかしをしたくなる人間の弱さと誠実に行動することの難しさをとらえさせるとともに, 誠実な心の価値をとらえさせるのに適した教材である。</p>

3 本時のねらい

<p>誠実でない心は, 後ろめたい気持ちや後悔につながることから, 自分に正直であることの大切さが分かり, どんな状況でも自分に誠実な心で行動しようとする態度を育てる。</p>
--

4 本時学習の工夫点

【つかむ段階】	【見出す段階】	【見つめる段階】
<p>事前アンケートの結果をもとに, 自分に誠実な心で行動することは, 大切なことであると分かっているが, できないことがあるという課題をもたせ, 本時学習のめあてをつかませる。</p>	<p>「広げる問い」で, 誠実に行動できなかった主人公の後悔する気持ちを考えさせた後, 「深める問い①」で, 自分に誠実な心で行動し, 結果を素直に認め, 前向きに考えることの価値についてせまり, 「深める問い②」で, 誠実であるために大切な心について考えさせ, 誠実についての価値理解を深めさせる。</p>	<p>いかなる状況でも自分に誠実な心で行動することの大切さについて, 自分との関わりで考えさせ, これまでの自分を振り返らせ, これからの自分の展望をもたせる。</p>

5 計画

事前 (課外)	道徳科 (本時)	事後 (課外)
<p>アンケートにより, 学校や学校以外での誠実な心についての経験を想起させる。</p>	<p>教材「見えた答案」を通して, 誠実な心について学習させる。</p>	<p>日常生活において, 誠実な心を大切にできたことを紹介し合わせる。</p>

6 展開


段階	学習活動と内容	教師の支援
つかむ	<p>1 事前アンケートの結果をもとに、これまでの経験を想起し、誠実の意味について確認し、学習のめあてについて話し合う。 (ずるやごまかしをした経験) (誠実とは)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・物をこわしたときに、「知らない。」と言ってしまった。 ・宿題が終わっていないのに「終わった。」とごまかした。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・うそをつかず、まじめなこと ・真心をもって、人や物事に対すること </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p>誠実であるために大切な心を見つめよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題意識をもたせるために、事前アンケートをもとに、不正をしてしまった経験を想起させ、「誠実」の言葉の意味について確認し、価値の方向性をつかませる。 ○ 本時学習のめあてをつかませるために、いつでも誠実に行動することは難しいということをとらえさせる。
見出す	<p>2 教材「見えた答案」をもとに、誠実な心についての価値理解を深める。</p> <p>(1) 教材を読み、場面の状況を把握し、よし子の答案を見てしまったときの花子の気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨日、家庭の都合で勉強ができていなかった。 ・解けそうで解けなくてもどかしい。 <p>(2) 返却された100点の答案を見た、誠実に行動できなかった主人公の後悔する気持ちを話し合い、自分の考えを広げる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>返却された100点の答案を見た花子の、納得できる気持ちと納得できない気持ちはどれくらいだったでしょうか。【広げる問い】</p> <p>(ずるをした100点の答案を見た花子の気持ち)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;"> <p>納得できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100点がとれたから。 ・お母さんにほめられる。 </div> <div style="text-align: center; width: 20%;"> <p>赤 青</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;"> <p>納得できない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の力ではないから。 ・どうして友達の答案を見てしまったんだ。 ・自分が許せない。 </div> </div> </div> <p>(3) もしも花子がよし子の答案を見ずに解いて100点が取れていなかったら、どんな気持ちになっていたかを考え、誠実な心についての価値理解を深める。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>もし、花子がよしこの答案を見ずに解いて100点ではなかったら、花子の納得できる気持ちと納得できない気持ちはどれくらいでしょうか。【深める問い①】</p> <p>(もしも100点ではない答案が返ってきていたら)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;"> <p>納得できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自力で解いたから。 ・これが自分の実力。 ・次、がんばればいい。 </div> <div style="text-align: center; width: 20%;"> <p>赤 青</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;"> <p>納得できない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100点ではなくてくやしい。 ・いつもならできた。 </div> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>誠実であるために大切な心は何でしょうか。【深める問い②】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0; width: 80%;"> <p>どんなときでも自分に正直でいる心</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 花子の気持ちを考えさせるために、前日に勉強が十分にできていなかったという状況と100点を取りたいという気持ちを確認する。 【広げる問い】 ○ 自分に誠実な行動ができずに後悔する花子の気持ちを考えさせるために、不正をして取った100点の答案を見た時の気持ちを共感的に問い、心情図を用いて表現活動を行わせる。 【深める問い①】 ○ 誠実についての価値にせまるために、不正をせずに解き、100点ではなかったときの気持ちを仮定的に問い、心情図を用いて表現活動を行わせる。 【深める問い②】 ○ 誠実についての価値をとらえさせるために、誠実であるために大切な心について分析的に問い、キーワードを黒板にまとめる。 ○ 自分との関わりで考えを深め、実践意欲をもたせるために、本時学習をする前の自分を振り返らせ、価値理解したことをもとにこれからの自分について考えさせた後、誠実に関わる説話を行う。
見つける	<p>3 本時で明らかにした誠実についての価値をもとに、自己の生き方についての考えを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うまくいなくても、ごまかしをせずに素直に認めることを大切にしたい。 ・ずるをして成功しても自分のためにはならないから、失敗してでも自分に正直に行動したい。 ・誠実に行動した結果、うまくいなくてもそれを素直に認めて、次に生かせるような心を持ちたい。 	

ずるやまかし 誠実とは

- 自分がしたのに「知らない」と言った
- 終わっていないのに「終わった」とうそをついてしまった
- 真心を持って人や物事に対すること。
- まじめでうそやいつわりがないこと。

誠実であるために大切な心を見つめよう。

見えた答案



百点の答案を見た花子の気持ち

納得できる

- 少しうれしい
- 仕方がない
- 一問だけだから

納得できない

- 見てしまった
- もやもや
- なんで見てしまったんだろう
- 自分のかではない
- 後悔

よし子の答案を返却し百点となった

納得できる

- 自分でできた
- ずるはしながた
- もやもやがない
- 自分につきまつかない
- 自分のか

納得できない

- くやしい
- 百点とりたがた
- あと一問だけなのに

誠実であるために大切な心は、後悔しないように、自分に正直である心

主な発問

○つかむ

ずるやまかしをした経験はありますか。

「いつでも誠実に行動することは難しいですね。」

誠実であるために大切な心を見つめよう。

○見出す

よし子の答案を見てしまったときの花子の気持ちを考えましょう。

【広げる問い】

返却された百点の答案を見た花子の、納得できる気持ちと納得できない気持ちはどれくらいだったでしょうか。

納得できる気持ちを赤で、納得できない気持ちを青で、心情図を使って表現させる。
その後、ペア交流をさせる。

【深める問い①】

もし、花子がよしこの答案を見ずに解いて百点ではなかったら、花子の納得できる気持ちと納得できない気持ちはどれくらいでしょうか。

納得できる気持ちを赤で、納得できない気持ちを青で、心情図を使って表現させる。
その後、ペア交流をさせる。

【深める問い②】

誠実であるために大切な心は何でしょうか。

誠実であるために大切な心は、後悔しないように、自分に正直である心

○見つめる

今日の学習で学んだことをもとに、これからどんな自分でありたいかを考えましょう。

○成果と課題・改善策（◎成果，●課題，→改善策）

【つかむ段階】

◎事前アンケートをとり，導入段階で誠実の価値の方向性をつかませるときに生かすことができた。

【見出す段階】

〈広げる問い〉

◎「広げる問い」で，主人公の気持ちに共感させながら，不正をして取った100点という結果に対して「納得できる」「納得できない」の2つの立場で考えさせ，多様な考えを出し合うことができた。

●主人公の弱さに十分に共感できていなかったために，「広げる問い」で「納得できない」の考えに意見が偏った。

→中心場面につながる部分については，「広げる問い」の前に，主人公の前日の状況などを再度おさえ，気持ちを理解させておく。

〈深める問い〉

◎「深める問い」で，「もし，○○だったら・・・」と「納得できる」か「納得できない」かを仮定的に考えさせたことで，視点を変えて，誠実に行動することのよさについて考えさせることができた。

●「深める問い①」で出た考えを焦点化・明確化するための手立てが十分ではなかった。

→「深める問い①」で，考えを出し合わせるだけでなく，板書で主人公の気持ちを類型化したり，キーワードを整理したりして，「深める問い②」で子どもの思考を価値理解につなげることができるようにする。

〈表現活動〉

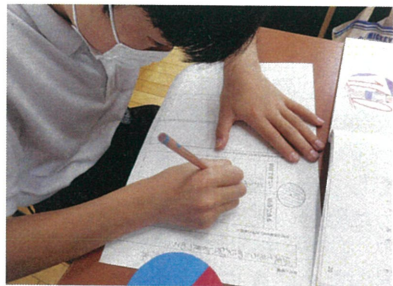
◎心情図を使って視覚化しながら表現活動をしたことは，自らの考えを明らかにしたり，友達の考えと比べたりする上で有効だった。

【見つめる段階】

◎子どもの誠実な行動を取り上げて紹介することで，今後の実践意欲につなげることができた。

○表現活動，対話の様子

【考えをノートに書く】



【心情図を使ったペア交流】

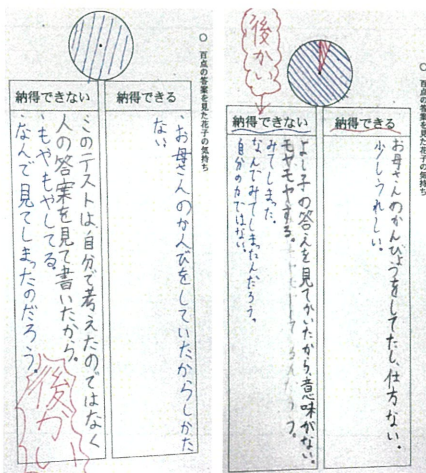


【全体交流】

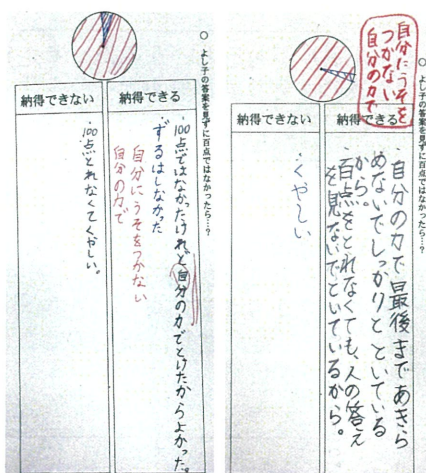


○子どものノート

【広げる】



【深める】



【価値理解～見つめる】

